

# 令和6年度第5回真庭市こどもはぐくみ推進本部会議 議事次第

日時：令和7年1月31日（金）9：00～10:00

場所：真庭市役所本庁舎3階応接室

## 1. 開会

## 2. 本部長あいさつ

## 3. 報告事項

①こどもはぐくみ応援プロジェクト2024 73事業の事業進捗状況について

資料1

(9:00～9:15)

②真庭市こども計画の進捗状況について

資料2

(9:15～9:20)

## 4. 協議事項

①こどもはぐくみ応援プロジェクト2025 施策のとりまとめについて

資料3

(9:20～9:50)

②来年度に向けた検討事項について

資料4

(9:50～10:00)

## 5. 閉会

## 令和6年度こどもはぐくみ推進本部会議名簿

所属	職名	氏名	代理出席者
	市長	太田 昇	
	副市長	伊藤 敦哉	
	教育長	三ツ 宗宏	
市長直轄組織危機管理課	部長	今石 久嗣	欠席
総合政策部	部長	木村 辰生	
政策推進監	推進監	牧 邦憲	
総務部	部長	金谷 健	
生活環境部	部長	池田 敏浩	
健康福祉部	部長	樋口 竜悟	
産業観光部	部長	木林 正和	
産業観光部	林業政策統括監	石原 匡師	
建設部	部長	美甘 則之	
建設部	まちづくり推進監	川端 次男	
会計課	管理者	今石 健司	
蒜山振興局	振興局長	南 博晴	
北房振興局	振興局長	行安 太志	
落合振興局	振興局長	大塚 清文	
勝山振興局	振興局長	三浦 祥靖	
美甘振興局	振興局長	安藤 紀子	
湯原振興局	振興局長	河島 賢治	長須課長
消防本部	消防長	大美 勝	
議会事務局	局長	児玉 正裕	平田次長
教育委員会事務局	次長	武村 良江	
湯原温泉病院	事務部長	西本 智一	
事務局			
子育て支援課	こどもはぐくみ担当課長	広岡 由紀子	
子育て支援課	課長	吉原 栄作	
こども家庭センター	センター長	神庭 麻理	
子育て支援課	係長	二宗 政志	
子育て支援課	上級主事	水島 理枝子	

## R6年度「こどもはぐみ応援プロジェクト」こども・子育て支援施策事業【実績見込】

NO	ステージ	事業名	担当課名	事業概要	実施内容	R6年度 事業区分	実施状況	R6予算額 (千円)	R6実績見込額 (千円)	R7事業実施
<b>1. 相談支援</b>										
1	妊娠・出産期～高校	こども家庭センター（通称：はぐみセンター）事業（母子とこどもの一体的な相談支援）	子育て支援課	改正児童福祉法により、子育て世代包括支援センター（母子保健－健康推進課）と子ども家庭総合支援拠点（児童福祉－子育て支援課）の意義や機能は維持した上で組織を見直し、一体的な相談支援を行います。	母子保健・児童福祉両部門の連携・協働を深め、虐待への予防的な対応から個々の家庭に応じた切れ目ない対応など、相談支援体制の強化を図ります。	新規	係会議：随時 センター会議等：12回 ケース合同会議：18回 関係機関への説明会：23回 研修受講：随時	-	-	継続
2	妊娠・出産期～小・中学校	母子手帳アプリサービス（成長記録・予防接種管理）	子育て支援課	①母子健康手帳機能：成長記録、予防接種のスケジュール管理等 ②地域の子育て情報機能：利用者の属性により情報提供、子育てイベント情報、施設情報等 ③予防接種DX：予防接種の予定を確定後、電子予診票の入力を実施等	●必要な人に、必要な情報が、必要なタイミングで届く ●予防接種等の手続きに係る保護者の負担軽減 ●業務の効率化	新規	アプリの導入・運用 追加機能の実装	5,305	5,305	継続
3	妊娠・出産期	まにわパバママクラス（妊婦とパートナーを対象にした出産・子育て教室）	子育て支援課	妊婦やそのパートナーが妊娠・出産・育児に必要な知識を助産師から学んだり、ほかのパバママたちとの交流・友達づりがけができる場を開催します。	令和6年度 1クール3回コース×3クール開催 R6年7月以降出産予定の方及び妊娠届出時に案内	継続	3クール。全9回開催。2クール終了時点で参加者実人員19名、延人員29名	283	283	継続
4	就学前～高校	発達育児支援センター事業（相談体制の充実等）	福祉課	発達や育児、集団生活での適応など社会生活で困りを持つ方の相談に応じる。相談支援・通所支援・家族支援により、トータルライフ支援を行います。	相談支援・通所支援・家族支援を柱に、地域に向かう巡回訪問・巡回相談や、園や学校との連携の強化、一人一人の発達段階に応じた個別療育の充実を図ります。	継続	相談支援1,236件、通所支援（わくわくステップ集団個別67名・親子教室61名）、巡回相談巡回訪問250回	19,532	16,460	継続
5	妊娠・出産期～高校	子育てオンライン相談（LINE等）	子育て支援課	妊娠・出産・子育てに関する相談をスマートフォンなどを使用し、LINEで相談を受ける。随時、子育ての情報を配信します。	LINE相談については随時回答するとともに、振興局保健師と連携を図る。又、月に数回程度、市の育児イベントや育児情報等について配信します。	継続	LINE相談12月末で526件。月8件情報発信。	517	517	継続
6	就学前	愛育委員のこにちは赤ちゃん訪問	健康推進課	絵本を通して親子のふれあうことを目的に愛育委員がブックスタートの本を持って赤ちゃん訪問を行います。	3～4か月頃を目安に愛育委員が赤ちゃん訪問を行い、ブックスタートを勧めます。	継続	3～4ヶ月児全数に実施できている。	189	189	継続
7	就学前	ママと赤ちゃんのおっぱい相談（産後ケア事業訪問型）	子育て支援課	助産師が自宅に訪問し、お母さんの母乳ケアや沐浴、授乳などの育児指導、お子さんの体重栄養チェック等を行います。	母と子の状況から申請により利用ができます。産後1年未満で3回まで助成をします。	継続	12月末申請：26件 利用：8件	230	230	継続
8	妊娠・出産期～就学前	母子保健コーディネーター相談支援	子育て支援課	妊娠や出産、子育てのさまざまな相談に応じ、必要なサービスを紹介する等、安心して妊娠や出産、育児ができるよう応援します。	母子保健コーディネーター2名体制で相談対応	継続	相談に対して随時訪問、電話等で相談実施	9,043	9,000	継続
9	就学前～高校	家庭教育支援事業	生涯学習課	真庭市家庭教育支援チームを設置し、身近なエピソードや資料等をもとに参加者同士が交流しながら学ぶ機会を提供しています。	「おしゃべり広場ふらっと」をくせ活生きサロン等で毎月開催 市内園小中学校の入学説明会や参観日、子育て支援団体等に親学習の機会を提供します。	継続	おしゃべり広場毎月開催 出張おしゃべりカフェ随時開催 市内園小中学校子育て支援団体等を対象に親学習機会の提供を行った。	901	900	継続
10	就学前	赤ちゃん訪問（保健師・助産師）	子育て支援課	保健師・助産師が生後4か月までの乳児（未熟児含む）のいる家庭を訪問し、母子の健康状態の確認と子育て支援に関する情報提供等を行います。	4か月までの乳児のいる家庭に保健師又は助産師が全戸訪問します。	継続	随時振興局保健師と協力しながら訪問を実施。他市からの里帰りの産婦訪問も他市と連携し実施。	158	158	継続
11	就学前	愛育委員による親子交流事業	健康推進課	北房、落合地域では、乳児と母親を対象にベビーマッサージを、久世地域では、就学前のお子さんと保護者を対象に愛育サロンを、勝山地域では、つどの広場の集まりに合わせて親子の交流事業を開催します。	愛育委員が各地域で子育て支援ができるよう、つどの広場や各振興局の保健師と連携を取りながら行います。	継続	北房・落合・勝山地域では乳児を対象にベビーマッサージを開催した。 久世・美甘・湯原・勝山地域ではつどの広場やこども園等で就学前の児を対象に愛育サロンや虫歯予防教室等を開催した。	-	-	継続
12	就学前～高校	食育推進ボランティアによる食育教室	健康推進課	子育てサロン等の集いの場、こども園、保育園、幼稚園の保育施設および小学生が集いの場等において、食育推進ボランティアが中心となり「食の体験活動（食育活動）」を通じて、健全な食生活の実現につなげます。	就学前から食育推進ボランティア（栄養委員）による食育体験ができるよう、保育施設や学校等と連携した取組を行います。	継続	真庭市食育推進ボランティアが関係団体が協働し実施。 市内での活動実績110回（12月末時点）。	1,974	1,974	継続
13	ライフステージにかかわらずの支援	ひとり親家庭就労相談支援	子育て支援課	ひとり親家庭に対しハローワークと協働し条件に合う就労支援を行います。	・児童扶養手当の現況届提出時期にあわせ、真庭市にハローワークが出張し相談窓口を設置 ・年間通して相談対応	継続	・児童扶養手当の現況届提出時就労について確認行う。 ・8月に出張相談を開設した。	-	-	継続
14	就学前	育児相談（保健師・栄養士）	子育て支援課	乳児、幼児の発育を確認するとともに、育児についての正しい理解を深め、母子の健康の保持増進を図ります。	市内8箇所です約2か月に1回育児相談を実施 保健師、助産師、栄養士、看護師等で子育て・栄養相談、身体計測を行います。	継続	市内8箇所です約2～3か月に1回育児相談を実施。 1月末：利用（保護者数）239名	301	301	継続
<b>2. 出産・育児・生活の支援</b>										
1	就学前～高校	医療的ケア児訪問看護レスパイト事業	福祉課	在宅の医療的ケア児の看護や介護を行う家族の負担軽減、休息時間の確保などを目的に医療保険適用を超える訪問看護を受けた場合にその費用の一部を助成します。	医療保険の適用を超える訪問看護療養費30分当たり3,500円（上限）を補助 月4時間年間48時間を上限	継続	登録者2名 利用時間51時間	1,053	377	継続

NO	ステージ	事業名	担当課名	事業概要	実施内容	R6年度 事業区分	実施状況	R6予算額 (千円)	R6実績見込額 (千円)	R7事業実施
2	妊娠・出産期～就学前	はぐみサポーター派遣事業 (利用回数の上限30回)	子育て支援課	妊娠期から出産後の体力が回復するまでの間(母子手帳交付から産後1年未満)、はぐみサポーターによる家事支援・育児支援が1時間につき500円の自己負担で1人30回まで受けられます。R5年度から年間利用回数を20回から30回に拡大し、非課税世帯は無料で利用できます。	妊娠期から出産後の体力が回復するまでの間(親子手帳交付から産後1年未満)、はぐみサポーターによる家事支援・育児支援が1時間につき500円の自己負担で30回受けられる。今年度、サポーター養成講座(1回目8/31・2回目9/12)開催。7月広報誌に受講者募集記事掲載。	継続	12月末 申請:39件 利用:101件	574	574	継続
3	妊娠・出産期～就学前	産後ケア事業 (利用回数の上限12回)	子育て支援課	産後1年未満のお母さんとお子さんが、医療機関や助産院等に宿泊または日帰り利用することにより、お母さんとお子さんのケアや授乳指導、育児相談が受けられる。12回までは助成が受けれます。	産後1年未満のお母さんとお子さんが、医療機関や助産院等に宿泊または日帰り利用することにより、お母さんとお子さんのケアや授乳指導、育児相談等が受けられる。生後1年未満に宿泊・日帰りを合わせて12回まで利用可能です。	継続	12月末 申請:52件 利用:60件(日帰型) 16件(宿泊型)	1,624	1,624	継続
4	妊娠・出産期～就学前	妊産婦ケア事業 (産婦健診)	子育て支援課	産後の体調や育児の状況を確認するため、産後8週間以内に委託医療機関で、2回受けることができます。	産後8週以内の母の体調や育児の状況を確認し、安心して親子ともに健やかに過ごすことができ、医療機関が必要時治療や支援につなぎます。	継続	370件	2,330	2,330	継続
5	就学前	乳幼児健診	子育て支援課	乳幼児の病気の早期発見と予防、及び健康の保持増進のため医師、歯科医師、歯科衛生士、臨床心理士、保健師、栄養士、看護師等が連携して健診を行います。	3～4か月児健診、9～10か月児健診、1歳6か月児健診、2歳児歯科健診、3歳児健診を年66回実施する。身体計測、保健相談、内科・歯科診察、ブラッシング指導、心理相談、尿検査、栄養相談、目の屈折検査等を行います。	継続	落合会場:60回、湯原会場6回実施予定。	8,227	8,227	継続
6	就学前	離乳食教室	子育て支援課	保護者の困りや不安感の解消、生活リズム、食習慣及び間食等について、管理栄養士・栄養士が中心となり、こどもの成長や発達状況に応じた支援を行います。	年10回開催予定。 こどもを対象に食に関する体験ができ、保護者の困りや不安感の解消になります。	継続	年10回開催 12月末までに初期25組中期18組参加。ご夫婦で参加されることもある。今年度から託児を開始し利用が増えている。	54	54	継続
7	就学前	新生児聴覚検査 (費用の助成)	子育て支援課	生後1年未満の乳児に対し、医療機関委託で新生児聴覚検査を実施し、費用の一部助成します。	岡山県内の産科医療機関及び県外の契約医療機関で出生後に検査を実施します。県外で出生された子どもさんへも受診を促します。	継続	医療機関と連携して実施 185件	667	667	継続
8	妊娠・出産期	妊婦・パートナー歯科健診 (自己負担の無料化)	子育て支援課	妊婦及びパートナーに対し、市内歯科医院委託で歯科健康診査を実施します。	市内歯科医院へ委託。歯科医院で歯科健診、歯科保健指導、リーフレットを用いて歯科疾患がもたらすこどもへの影響を説明します。	拡充	随時医療機関で受診 12月末までの受診者 妊婦50人、パートナー29人 今年度自己負担が無くなり受診が増えている。	574	300	継続
<b>3. 経済的支援</b>										
2	就学前～小・中学校	園・小中学校等の給食費への助成事業 (物価高騰に伴う緊急支援)	教育総務課 学校給食推進室 子育て支援課	給食材料費の仕入れ価格の高騰の影響により学校給食費を値上げする状況にあり、保護者の急激な経済的負担を押し返すため、学校給食費を据え置くとともに学校給食の質を維持するため、市費による食料費高騰分の補填をします。	食材費の実質高騰分1食当たり20円分の補填による適正な栄養価の給食の維持を図ります。	継続	学校給食提供数:567,002食(1/14現在)	23,261	17,038	継続
3	妊娠・出産期～就学前	出産・子育て応援はぐみ給付金事業 (妊娠時、出産時それぞれ5万円給付+伴走型支援)	子育て支援課	妊娠時と出産時に応援金を給付し、経済的負担を軽減します。	伴走型相談支援との一体的な実施により、必要に応じた支援に繋がります。	継続	妊娠届出時:185件 出産届出時:185件	23,000	18,500	継続
4	妊娠・出産期	低所得妊婦初産科受診料助成事業	子育て支援課	低所得家庭の妊婦に対して、妊娠の診断を受けるために医療機関を受診する際の初回費用を助成し、経済的負担を軽減します。1回あたり1万円を上限	1回あたり1万円を上限とし、年度内2回まで	継続	0件	100	100	継続
5	就学前～高校	こども医療費無償化 (対象を高校生代まで拡充)	市民課	こども医療費給付事業において、令和5年6月診療分から対象年齢を高校生世代(満18歳)までに拡充し、無償で医療(入院・通院とも)を受けられます。	医療費無償化の対象年齢を高校生世代まで拡充し、保険診療にかかる医療費無償化により、安心して医療機関等を受診できます。	継続	対象者数(R6.3.31現在) 3歳未満...603人 就学前...1073人 小学生...1978人 中学生...1087人 高校生...1070人	195,626	187,068	継続
6	妊娠・出産期	不妊・不育治療支援事業 (上限を設定した上で全ての不妊治療を対象)	子育て支援課	不妊症・不育症のため、子どもを持つことができない夫婦に対して、治療費の助成を行い、経済的負担を軽減します。	上限額を設定した上で全ての不妊治療に拡大	継続	不妊治療助成:31件 不育治療助成:1件	6,300	5,196	継続
7	妊娠・出産期	若年がん患者妊孕性温存治療支援事業	健康推進課	生殖機能に影響するおそれのある治療を受けるがん患者に対して、治療費(妊孕性温存治療)の助成を行い、経済的負担を軽減します。	申請のあった医療保険外の妊孕性温存治療を受けた方への治療費の助成を行います。	継続	妊孕性温存治療後の凍結保存の更新1件	650	30	継続
8	就学前	保育料の減免・無償化 (第3子以上)	子育て支援課	ひとり親世帯などに該当する場合や第3子以降については保育料の減免や無償化を行う。	申請のあった該当世帯へ減免等	継続	申請のあった該当世帯へ減免	32,470	24,201	継続
9	高校	市内就職を志す看護学生への奨学金 (対象校・金額拡大、返還免除あり)	健康推進課	看護師養成所に在学する者のうち(大学含む)、真庭市内の医療機関に就職を希望する者に対して奨学金の貸付事業を実施します。 ※対象者の拡大、貸付額増額	奨学金支給を希望する学生を募集	拡充	既決定3名のほか、新規に大学2名専攻科1名、看護科5名の9名に貸付を実施。	6,000	5,540	継続
10	高校	高校生・大学生等への奨学金 (奨学金貸付・Uターンする若者への返済免除含む)	教育総務課	高校及び大学等の進学支援として奨学金の貸付事業を実施。奨学金利用者が市内就職等を行った者に借入額の最大2分の1を限度に奨学金返還免除を行います。	より多くの奨学金利用者へこの制度の周知を図るため、返還金納付書を送付する際にPRをします。	継続	貸付者:39名 (返還免除者7名、調停減額3,000千円)	13,920	13,200	継続
<b>4. 子育て環境整備</b>										

NO	ステージ	事業名	担当課名	事業概要	実施内容	R6年度 事業区分	実施状況	R6予算額 (千円)	R6実績見込額 (千円)	R7事業実施
1	ライフステージにかかわらない支援	こどもはぐくみ応援事業 (こどもまんなかイベント・PR動画作成)	子育て支援課	育児がしやすい社会の実現のための理解促進に取組むことで、「みんなではぐくむ子育てのまち」の実現のための機運醸成を図ります。 ①こどもまんなかイベント開催 ②企業の子育て支援事例の収集・啓発 ③PR動画作成、市民インフルエンサーによる発信	「みんなではぐくむ子育てのまち」を実現するため、地域全体で子育てを応援する機運を醸成や、「住み続けたい」と感じてもらえるよう、子育て世代をメインターゲットに、こども・子育て支援に関わる事業や欲しい情報を効果的に発信します。	新規	・こどもまんなかまつり2回開催 ・Instagram「こどもあ」で、7名の市民インフルエンサーによる発信 ・PR動画公開 ・PR動画作成10本	7,108	6,799	拡充
2	妊娠・出産期～高校	こども計画策定	子育て支援課	こども基本法第10条に基づく市町村計画であり、こども・子育て支援事業計画をこども計画と一体のものとして策定します。 以下の計画としても位置づける。 ・次世代育成支援行動計画 ・子ども・若者育成支援計画 ・子どもの貧困対策計画	こども施策に関する基本的な方針、重要事項、子ども施策に推進に必要な基本方針「こども大綱」(少子化社会対策大綱、子ども・若者育成支援推進大綱、子どもの貧困対策に関する大綱が一元化)を勘案し策定します。	新規	真庭市こども計画策定：1件	9,655	6,309	終了
3	ライフステージにかかわらない支援	こども・子育て情報発信	子育て支援課	・真庭市が実施する施策及びこども・子育て情報を集約したタイムリーに発信します。 ・こどもICTネットワークをより伝わりやすく探しやすいようホームページの機能を改修します。	●こども・子育て情報を必要とする方への利便性の向上 ●市が実施する事業の認知度の向上及び利用者拡大	新規	こどもICTネットワーク改修：1件	352	352	拡充
4	ライフステージにかかわらない支援	真庭ではたらく保育士新生活支援事業 (保育士の就職支援)	子育て支援課	新たに真庭市内で保育職として働く方へ支援(補助金)を行います。	●真庭市内への就職促進 ●保育職の確保	新規	申請者4名に交付済	5,500	1,000	継続
5	就学前	民間認定こども園サロン事業 (一時預かりなどの充実)	子育て支援課	一時預かり及び地域子育て支援事業の運営費に対し補助金を給付します。	地域の子育て支援の量の充実や質の向上	新規	R6.6～地域子育て支援拠点：週5日開所 R7.1～一時預かり：定員一日につき3人	17,346	7,968	継続
6	就学前～小学校	まにわの木ふれあい事業	林業・バイオマス産業課	当課で木のおもちゃを購入し、久世庁舎1Fキッズスペース、真庭市立中央図書館、各地域つどの広場などに配置します。	木の特性や、人と自然との関わりについての理解醸成を促し、真庭の未来を担う子供達の豊かな心の成長を助けることにつながります。	新規	市内つどの広場6カ所 本庁舎キッズスペース 落合振興局キッズスペース	1,053	439	終了
7	妊娠・出産期～高校	市営住宅子育てリノベーション事業	まちづくり推進課	市営立誠住宅の空き住戸(1戸)を子育て世帯に配慮した仕様・間取りに改修します。	手頃で「住みたくなる」住宅へと改修することで、子育て世帯の支援及び、若者の定住、地域のコミュニティの形成が促進されます。	新規	改修工事完了(1戸)	18,273	13,871	終了
8	小・中学校	生理用ナプキンスクール事業 (市内小中学校トイレに生理用品設置)	学校教育課	児童生徒が必要な時に生理用品を利用できるよう、市内小中学校のトイレに生理用品を設置します。	様々な理由から生理用品の確保が難しい場合や、急に必要になったときに持ち合わせていない場合でも、不安を感じることなく、安心して学校生活を送ることができます。	新規	市内すべての小中学校のトイレに生理用品設置	104	63	継続
9	高校	学習交流センター整備事業 (勝山高校蒜山校地交流施設)	教育総務課	豊かな景観などを生かし、真庭市の観光産業、サステナブルで豊かな暮らしの全国への発信役を担う蒜山地域において、交流人口及び関係人口と、子どもたちを含めた地域住民との交流等を可能にする、滞在可能な学びと交流の拠点を整備し、もって持続可能な中山間地域づくりを進めていきます。	●建物建築・3月竣工 ●運営体制構築及び運営方針策定	新規	建物工事：2月中竣工 運営体制等：構築 開所：3月予定	468,586	463,427	終了
10	小・中学校～高校	よみたい、しりたい、こども応援事業	生涯学習課 図書館振興室	①児童・生徒が学校で公共図書館の本を予約、受け取りできるようにします。 ②自動車文庫の高校巡回をします。	公共図書館が遠く本を借りるのが困難な児童生徒にも公平な読書環境を提供することができます。	新規	貸出冊数 6,000冊 利用校数 26校	769	580	継続
11	ライフステージにかかわらない支援	子育て世帯就業環境改善事業	産業政策課	子育て世帯の所得の増加と企業の人材確保を目的として、他の地域・企業での子育てと仕事の両立がしやすい労働環境づくりの優良事例や新たな解決策を調査するとともに、市内企業の啓発を行います。	子育て世代の就業を促進し所得の向上 子育て世帯の就業が促進されることで企業の人材確保	新規	企業ヒアリング実施件数：10件	4,000	4,000	継続
12	就学前	こども園等の再編整備促進	子育て支援課	老朽化しているこども園等を保育ニーズも考慮し、再編整備を行う。今年度は、R8年度以降早期に開園を予定している新たな公立の認定こども園の設計やR5年度で廃園となる久世保育園の解体を行います。	市内園の老朽化等の状況を把握し、今後の方向性を検討し、計画的な事業実施を目指します。	新規	久世第二こども園(仮称)整備工事設計完了 久世保育園解体工事契約締結	100,518	99,088	継続
13	就学前	園児のおむつスツクリ事業 (園での使用済みおむつ処理)	子育て支援課	園で使った園児のおむつを園が引き取ることで、保護者の方の持ち帰りの負担が軽減されます。また、保育士がおむつの仕分けをする必要がなくなり、園児と向き合う時間を増やすことができます。	園の規模に合わせたオムツ回収ボックスを整備します。	継続	おむつの園回収を継続	-	-	継続
14	小・中学校	小中学校等のICT化推進事業 (学校と保護者との連絡ツールのICTを推進)	教育総務課	セキュリティ対策が施されたアプリを用いて①保護者から学校への欠席等連絡②学校から保護者家庭への情報発信③学校活動及び学校運営に関する情報の閲覧に関する利便性向上を進めます。	9月の本格稼働を目指し、7～8月に学校での試験稼働と研修を行い、合わせて保護者へのPRを夏休み中に行います。	継続	アプリ使用ルールを各学校の状況に応じて定め、保護者～学校間の連絡態勢を築けた。	2,799	2,799	継続
15	就学前～高校	こどもの居場所づくり支援事業 (あそびの機会づくり)	生涯学習課	子どもが自由で自発的に遊ぶことができる遊びの機会をつくとともに、見守ることができる大人を増やし、世代を超えた大人のネットワークを育みます。	あそびに関する研修会等を開催し、年100人程度参加者数を目指します。	拡充	2月にあそびに関する講演会を実施した	6,387	5,508	継続
16	就学前～高校	安心して遊べる場の整備促進	まちづくり推進課	広く要望を募り、公民協働によるポケットパークを整備する。また、勝山地区内の旭川河川敷に小中高生や多様な人々が集い憩う遊び場(インクルーシブ・フィールド)を整備します。	アーバンスポーツ等様々な要望に応えた公園(遊び場)を整備することで、高校魅力化も含め、子育てに魅力のあるまちづくりを行います。	拡充	勝山河川公園工事完了 11/24オープン	25,024	23,397	継続

NO	ステージ	事業名	担当課名	事業概要	実施内容	R6年度 事業区分	実施状況	R6予算額 (千円)	R6実績見込額 (千円)	R7事業実施	
17	就学前～高校	市営住宅入居時の多子世帯優遇制度の創設	まちづくり推進課	子育て中の多子世帯（18歳未満の子を3人以上扶養する者）等市営住宅の入居に関して配慮が必要な方を優先的に市営住宅に入居できます。	多子世帯等が市営住宅入居申込みをした場合、その公開抽選に当たり、抽選回数を優遇します。	継続	多子世帯の優遇該当1件 抽選会の無断欠席により実施無し	-	-	継続	
18	妊娠・出産期～就学前	企業への普及啓発事業の展開（県おこやま子育て支援企業制度普及拡大）	産業政策課	従業員の子育てや地域における子育てを応援するための具体的な取組を宣言する「おこやま子育て応援宣言企業」の普及啓発を行い、市内の企業や団体等が、子育てを応援する機運を醸成します。	商工会を通じて事業のPRチラシ、登録申請書を配布して登録を促します。	継続	制度説明・登録依頼：10件 就業委環境改善事のヒアリング時に登録を促す。	-	-	継続	
19	就学前	保育人材の確保促進事業（免許取得助成、学生の保育対策支援、リクルート活動）	子育て支援課	令和5年度に引き続き養成課程のある学校へのリクルート活動、保育現場従事者の免許状の取得に係る費用の助成を行うことに加え、令和6年度から学生に真庭市の保育を知ってもらう体験の機会への交通費などを助成し、保育士を確保と市内の保育環境を向上を目指します。	保育の質の向上を図るため、包括連携協定の締結している大学等の学生に、真庭市の保育を知ってもらう機会を創ります。 リクルート活動：5月までに県内の養成校に対しリクルート活動を行います。	拡充	・リクルート活動17校 ・免許取得助成1名活用	-	315	86	継続
20	就学前	頑張る保育士応援事業（奨学金の一部返済補助等）	子育て支援課	奨学金を用いて保育士等の資格を取得し、真庭市内に就職した方へ、奨学金返済額の1/2（上限は年12万円）の補助を行います。	正規職員や認可外保育施設の勤務者も対象に含めます。	継続	申請者22名に交付決定 実績報告依頼を行う	2,584	1,488	継続	
21	妊娠・出産期～就学前	つどいの広場の運営	子育て支援課	就学前の乳幼児と保護者が気軽に集い、交流しあえる場所の提供します。	北房、落合、久世、勝山、湯原、蒜山で開催	継続	市内6か所にて開所	-	30,044	32,095	継続
22	小・中学校	放課後児童クラブの整備	子育て支援課	保護者が就労等の理由で昼間家庭にいない児童を放課後に預かり、児童の健全な育成を図るための委託事業。16クラブ17か所を運営しています。	落合小学校放課後児童クラブの移転新設工事と、勝山小学校放課後児童クラブ移転改修設計を行います。	拡充	落合小学校放課後児童クラブ整備工事完成 勝山小学校放課後児童クラブ移転改修設計完了	-	114,593	107,509	継続
23	就学前	こども園等のICT化推進事業（登降園記録等のICT化推進）	子育て支援課	公立保育園、こども園職員の業務負担の軽減を図り、保育業務に専念できる環境を構築し、保育の質の向上を図るとともに、保護者の利便性を向上させるための保育業務支援システムを導入します。	美川、木山、河内、米来、美甘、湯原の各こども園及び久世第二、月田、富原、中和の各保育園に導入します。	拡充	Wi-Fi環境の整備、タブレット端末等配布完了、保育業務支援システム運用開始	保育業務支援システム運用開始	21,014	14,381	継続
24	小・中学校	地域学校協働本部事業	生涯学習課	「学校を核とした地域づくり」を目的に地域と学校が連携協働する地域学校協働活動を実施します。	市内全域の地域学校協働活動推進員を対象とした研修会を年2回以上開催します。	拡充	2月に今年度3回目の地域学校協働活動推進員を対象にした研修会を開催した	年3回開催	11,346	10,891	継続
25	就学前～小学校	病児保育事業（市内2か所）	子育て支援課	子どもが病気のとき、保護者が仕事等の都合で家庭での保育が困難な際に一時的に預かり保育する事業。2ヶ所に委託し、運営。	2か所運営委託。令和4年度末に増設したため、周知啓発に努めます。	継続	需要に応じて実施 実績報告依頼を行う	23,775	17,793	継続	
26	就学前	真庭市里山定住促進事業（出張里山の日）	地域みらい創生課	森の日の実証を経て、幼少期から里山に触れ、地域への愛着と誇りを醸成する事を目的に「将来の定住促進、地域社会を担う人材の育成」の定住促進事業を実施します。	市内こども園を対象に、地域への愛着と誇りを醸成するための里山自然体験を実施します。	拡充	6園実施 189人参加	-	2,013	2,013	継続
27	小・中学校	真庭市里山留学事業（移住促進）	地域みらい創生課	事業の一部に里山に日事業を組み込み、将来の移住者のため関係人口の増加を目的に「将来の移住の促進、地域社会を担う人材の確保」の移住促進事業を実施します。	短期と中期の里山留学を継続しつつ、年間を通じての長期里山留学を実施します。	拡充	長期留学生1名（中和小学校）	-	8,998	8,448	継続
28	妊娠・出産期～小・中学校	ももっこアプリ協賛店の普及拡大（県事業推進）	子育て支援課	子育て家庭の方が「ももっこアプリ」を協賛店舗で提示すると、割引やポイント割増等店舗独自のサービスを受けることができます。	親子健康手帳交付時にももっこカードの交付も合わせて行う。県と連携し協賛店の拡大に努めます。	継続	出生、転入手続きの際、アプリの事業説明。 問い合わせに対し随時対応。	-	-	継続	
29	小・中学校～高校	いのちふれあい事業（中学校・高校）	子育て支援課	中・高校生を対象にした、命の大切さを学ぶためのふれあい体験学習。各地域それぞれの方法で愛育委員と中・高校、健康推進課が連携して事業を行っています。	地域の愛育委員と一緒に中・高生が、講話を聞いて命の大切さを学んだり、妊婦体験や育児体験を行います。	継続	真庭市内中学校6校 全校実施	地域の愛育委員と一緒に中・高生が、講話を聞いて命の大切さを学んだり、妊婦体験や育児体験を行う	42	42	継続
30	高校	HPV予防接種費用の助成（子宮頸がんワクチンキャッチアップ接種）	健康推進課	平成9年4月2日から平成20年4月1日までの間に生まれた女子を対象に、HPVワクチンの接種機会を逃した方へ費用の助成を行います。	対象者に接種勧奨通知を送り、予防接種を受けた方へ助成を行います。	継続	13名、17件接種。 事前申請、市から接種依頼書を発行して実施。	326	326	継続	
31	就学前	事業所内保育所推進事業	子育て支援課	第3子児童の保育料を無償化する事業所内保育所へ補助します。	申請のあった市内の事業所内保育所へ補助金を交付します。	継続	申請のあった2施設に交付決定 実績報告依頼を行う	2,880	973	継続	
32	就学前	企業内保育所推進事業（事業所内保育所等推進事業）	産業政策課	企業が設置する保育所等に地域枠を設けて設置企業従業員以外の乳幼児を受入れている企業所内保育所に対する補助を行います。（1人月額5千円）	設置企業従業員以外の乳幼児を受入れている企業所内保育所に対し、1人月額5千円の補助を行います。	継続	対象者：1者 決定額：460千円（延92人） 地域枠を設けて、企業主導型保育事業を行っている事業者に対し、一人あたり5,000円/月の補助金を交付する。	540	460	継続	
33	ライフステージにかかわらずの支援	就業環境向上ステップアップサポート事業	産業政策課	子育てをしながらでも安心して働けるよう、事業所に対し啓発活動や環境整備を支援します。	市内企業への啓発及び研修会の開催を支援します。	継続	交付実績なし 企業が行う就業環境整備を支援する。研修会開催やセミナー参加にかかる費用に対し補助金を交付する。	300	0	継続	

NO	ステージ	事業名	担当課名	事業概要	実施内容	R6年度 事業区分	実施状況	R6予算額 (千円)	R6実績見込額 (千円)	R7事業実施	
34	小・中学校～高校	教育魅力化推進事業（高校魅力化推進も包括的に実施）	教育総務課	郷育魅力化コーディネータを配置し、地域の活動を学校での生きた学びに活かしていく。これまでの総合学習、探究学習での地域講師との調整や授業サポートに取組ながら、学校・園・家庭・地域までを包括した伴走支援体制を構築します。	郷育魅力化CDを活用した地域へのアウトリーチにより、学校、家庭、地域をつなぐ伴走支援を実施します。	拡充	コーディネーターを6名任用し ・小中学校総合学習支援 ・高校探求学習支援 ・学校を核とした地域づくり促進 ・通しやすい学校づくり支援 ・市外からの児童、生徒の受け入れ態勢整備 ・高校魅力化など行った。	小中高の総合学習、探究学習を中心に、学校・園・家庭・地域まで幅広く伴走支援を行った。特に令和3年度から支援を始めた高校では全国大会での優秀賞や、全国募集の希望者の増加、生徒の学校生活の満足度向上など、本事業を通じて実を結んだ活動が多く見られ始めた。	39,994	38,973	拡充
35	小・中学校	放課後子ども教室事業	生涯学習課	主に長期休業中におけるこどもたちの体験・交流活動を地域の実情に応じて実施します。	北房・落合・美甘・湯原・蒜山で実施します。 (久世・勝山は公民館講座で実施)	継続	長期休業中のこどもの居場所づくりを各地域で実施した。	各振興局管内で実施	696	449	継続
36	就学前	子ども園等の施設改修	子育て支援課	既存の子ども園等の改修を計画的に行い、適正な保育環境の整備を行います。	安全・安心、衛生面の充実を図ります。	継続	落合子ども園屋根改修工事、八束子ども園フェンス改修、プール解体	すべて完了	16,056	13,986	継続
37	ライフステージにかかわらずの支援	高等職業訓練促進給付金事業	子育て支援課	ひとり親家庭に対し、就職に有利かつ生活の安定に資する資格の取得を促進し、経済的自立を図ります。	児童扶養手当現況届の際などに、資格取得の意向がある方に対し、当該事業について周知します。	継続	実績なし	—	1,730	0	拡充
38	就学前～高校	子育て短期支援事業（特定の理由による宿泊を伴う預かり支援）	子育て支援課	保護者の疾病、出産、育児疲れ、冠婚葬祭などの理由で一時的に家庭で子どもを養育することが難しくなった場合に、7日間を限度として児童養護施設（津山市・2カ所）で子どもの預かりを行います。	津山市内の2施設に委託。振興局保健師やはぐみセンターなど関係機関と連携し、支援が必要な家庭に情報を届けます。	継続	延べ30日利用	—	393	393	継続
39	小・中学校	学校給食地産地消推進事業	教育総務課学校給食推進室	地元食材を学校給食で提供することを通じ、郷育を推進するとともに地元食材の生産者の振興を図り、安全安心な学校給食の安定供給を目指します。	真庭食材の日を年3回開催。 真庭特産品プラスワンの日を年6回開催。	継続	真庭食材の日は予定どおり3回、真庭特産品プラスワンの日は7回実施した。	真庭食材の日は、各調理場が地場産を使用したオール真庭の献立を3回(7月、10月、11月)実施した。10月の献立は、市内統一の献立として、ジビエ・プリンセスサリーを使用したキーマカレーを提供し作成し真庭食材をアピールした。プラスワンの日は、市内の生産者から7品のクッキー、シャインマスカット等を提供し、この取組について多くの反響があった。	6,000	6,000	継続
40	就学前	一時保育サービス事業	子育て支援課	保護者の疾病や出産、看護等の理由により一時的に保育をすることが困難な方に、保育園等で一時的な保育を提供します。	前年度から引き続き、市内各園での預かりを行います。	継続	対象世帯への一時預かりを随時実施	希望者がいる場合に適宜対応	—	—	継続
41	妊娠・出産期～高校	空き家活用推進事業	まちづくり推進課	3年以上市外に居住し定住意思をもって転入する人で転入後3年を経過しない人に補助金を交付します。 子育て支援に資することを目的に、同世帯の子（23歳未満の子をいう）を養育している場合、1人あたり5万円を加算、申請者の配偶者については、1人あたり3万円を加算します。	子育て世代の負担を軽減し、子ども・子育てを応援する社会的機運を醸成することができます。	追加	子育て世帯に補助金を加算し支給した	申請37件中、こどもの扶養加算11件	40,000	37,835	継続
42	結婚	新婚さんバックアップ事業	地域みらい創生課	結婚を機に引っ越した場合の引っ越し代、家賃、新築・改修費用を補助します。	新婚生活を始めるための費用を応援することで、少子化対策につなげます。	追加	賃貸：25件 新築：3件 購入：1件	—	20,600	20,600	継続
							73		1,366,576	1,270,684	

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
アンケート												
調査票案作成		初稿	校正	印刷								
対象者抽出				ラベル印刷								
発送・回収				7/1-8/16								
分析・報告書作成					分析				報告書作成			
ワークショップ(座談会)							子育て当事者10/14		中高生12/27			
計画書作成												
目標量の設定						案	設定					
計画の骨子						素案	決定稿					
計画書作成							計画案作成		修正		最終案作成	最終案修正・校了
概要版作成									概要版作成			概要版修正・校了
パブリックコメント												
聴取										1/14-2/7		
回答											回答	
意見聴取												
教育委員会									12/19	1/24		
青少年育成センター運営協議会									12/13-1/6			
子ども・子育て会議			5/30			9/30		11/22			2/21	
議会報告(常任委員会)		5/16				9/12			12/12			3/4
推進本部会議			6/4				10/1		12/10		1/31	
政策推進トリック会議			5/21			8/26		11/25			1/27	

## R7年度「こどもはぐくみ応援プロジェクト」こども・子育て支援施策事業【令和7年1月30日時点】

NO	ステージ	事業名	担当課名	事業概要	実施内容	R7事業実施	R6当初予算額	R7予算要求額(千円)
<b>1. 相談支援</b>								
1	就学前～高校	発達発達支援センター事業 (相談体制の充実等)	福祉課	発達や発育、集団生活での適応など社会生活で困りを持つ方の相談に応じる。相談支援・通所支援・家族支援により、トータルライフ支援を行います。	相談支援・通所支援・家族支援を柱に、地域に出向く巡回訪問・巡回相談や、園や学校との連携の強化、一人一人の発達段階に応じた個別療育の充実を図ります。	継続	19,532	14,479
2	妊娠・出産期～高校	こども家庭センター（通称：はぐくみセンター）事業（母子とこどもの一体的な相談支援）	子育て支援課	改正児童福祉法により、子育て世代包括支援センター（母子保健－健康推進課）と子ども家庭総合支援拠点（児童福祉－子育て支援課）の意義や機能は維持した上で組織を見直し、一体的な相談支援を行います。	母子保健・児童福祉両部門の連携・協働を深め、虐待への予防的な対応から個々の家庭に応じた切れ目ない対応など、相談支援体制の強化を図ります。	継続	-	-
3	妊娠・出産期～小・中学校	真庭市はぐくみアプリ（母子手帳アプリ）（成長記録・予防接種管理）	子育て支援課	①母子健康手帳機能：成長記録、予防接種のスケジュール管理等 ②地域の子育て情報機能：利用者の属性により情報提供、子育てイベント情報、施設情報等 ③予防接種DX：予防接種の予定を確定後、電子予診票の入力を実施等	●必要な人に、必要な情報が、必要なタイミングで届く ●予防接種等の手続きに係る保護者の負担軽減 ●業務の効率化	継続	5,305	1,459
4	妊娠・出産期～高校	子育てオンライン相談（LINE等）	子育て支援課	妊娠・出産・子育てに関する相談をスマートフォンなどを使用し、LINEで相談を受ける。随時、子育ての情報を配信します。	LINE相談については随時回答するとともに、振興局保健師と連携を図る。又、月に数回程度、市の育児イベントや育児情報等について配信します。	継続	517	488
5	妊娠・出産期	まにわパパママクラス（妊婦とパートナーを対象にした出産・子育て教室）	子育て支援課	妊婦やそのパートナーが妊娠・出産・育児に必要な知識を助産師から学んだり、ほかのパパやママたちとの交流・友達づくりができる場を開催します。	令和7年度 1クール3回コース×3クール開催以降出産予定の方及び妊娠届出時に案内	継続	283	379
6	就学前	ママと赤ちゃんのおっぱい相談（産後ケア事業訪問型）	子育て支援課	助産師が自宅に訪問し、お母さんの母乳ケアや沐浴、授乳などの育児指導、お子さんの体重栄養チェック等を行います。	母と子の状況から申請により利用ができます。産後1年未満で3回まで助成をします。	継続	230	134
7	妊娠・出産期～就学前	母子保健コーディネーター相談支援	子育て支援課	妊娠や出産、子育てのさまざまな相談に応じ、必要なサービスを紹介する等、安心して妊娠や出産、育児ができるよう応援します。	母子保健コーディネーター2名体制で相談対応	継続	9,043	9,503
8	就学前	赤ちゃん訪問（保健師・助産師）	子育て支援課	保健師・助産師が生後4か月までの乳児（未熟児含む）のいる家庭を訪問し、母子の健康状態の確認と子育て支援に関する情報提供等を行います。	4か月までの乳児のいる家庭に保健師又は助産師が全戸訪問します。	継続	158	144
9	就学前	育児相談（保健師・栄養士）	子育て支援課	乳児、幼児の発育を確認するとともに、育児についての正しい理解を深め、母子の健康の保持増進を図ります。	市内8箇所ですべて約2か月に1回育児相談を実施 保健師、助産師、栄養士、看護師等で子育て・栄養相談、身体計測を行います。	継続	301	257
10	ライフステージにかかわらずの支援	ひとり親家庭就労相談支援	子育て支援課	ひとり親家庭に対しハローワークと協働し条件に合う就労支援を行います。	・児童扶養手当の現況届提出時期にあわせ、真庭市にハローワークが出張し相談窓口を設置 ・年間通して相談対応	継続	-	-
11	就学前	愛育委員のこんにちは赤ちゃん訪問	健康推進課	絵本を通して親子のふれあうことを目的に愛育委員がブックスタートの本を持って赤ちゃん訪問を行います。	3～4か月頃を目安に愛育委員が赤ちゃん訪問を行い、ブックスタートを勧めます。	継続	189	180
12	就学前	愛育委員による親子交流事業	健康推進課	北房、落合地域では、乳児と母親を対象にベビーマッサージを、久世地域では、就学前のお子さんと保護者を対象に愛育サロンを、勝山地域では、つどいの広場の集まりに合わせて親子の交流事業を開催します。	愛育委員が各地域で子育て支援ができるよう、つどいの広場や各振興局の保健師と連携を取りながら行います。	継続	-	-
13	就学前～高校	食育推進ボランティアによる食育教室	健康推進課	子育てサロン等の集いの場、こども園、保育園、幼稚園の保育施設および小学生が集いの場等において、食育推進ボランティアが中心となり「食の体験活動（食育活動）」を通じて、健全な食生活の実現につなげます。	就学前から食育推進ボランティア（栄養委員）による食育体験ができるよう、保育施設や学校等と連携した取組を行います。	継続	1974	1971
14	就学前～高校	家庭教育支援事業	生涯学習課	真庭市家庭教育支援チームを設置し、身近なエピソードや資料等をもとに参加者同士が交流しながら学ぶ機会を提供しています。	「おしゃべり広場ふらっと」をくせ活き生きサロン等で毎月開催 市内園小中学校の入学説明会や参観日、子育て支援団体等に親学習の機会を提供します。	継続	901	866
<b>2. 出産・育児・生活の支援</b>								
1	就学前～高校	医療的ケア児訪問看護レスパイト事業	福祉課	在宅の医療的ケア児の看護や介護を行う家族の負担軽減、休息時間の確保などを目的に医療保険適用を超える訪問看護を受けた場合にその費用の一部を助成します。	医療保険の適用を超える訪問看護療養費30分当たり3,500円（上限）を補助 月4時間年間48時間を上限	継続	1,053	1,053

NO	ステージ	事業名	担当課名	事業概要	実施内容	R7事業実施	R6当初予算額	R7予算要求額(千円)
2	妊娠・出産期～就学前	はぐくみサポーター派遣事業 (利用回数の上限30回)	子育て支援課	妊娠期から出産後の体力が回復するまでの間(母子手帳交付から産後1年未満)、はぐくみサポーターによる家事支援・育児支援が1時間につき500円の自己負担で1人30回まで受けられます。R5年度から年間利用回数を20回から30回に拡大し、非課税世帯は無料で利用できます。	妊娠期から出産後の体力が回復するまでの間(親子手帳交付から産後1年未満)、はぐくみサポーターによる家事支援・育児支援が1時間につき500円の自己負担で30回受けられる。今年度、サポーター養成講座実施する予定です。	継続	574	457
3	妊娠・出産期～就学前	産後ケア事業 (日帰り型・宿泊型)	子育て支援課	産後1年未満のお母さんとお子さんが、で医療機関や助産院等に宿泊または日帰り利用することにより、お母さんとお子さんのケアや授乳指導、育児相談が受けられる。12回までは助成が受けられます。	産後1年未満のお母さんとお子さんが、医療機関や助産院等に宿泊または日帰り利用することにより、お母さんとお子さんのケアや授乳指導、育児相談等が受けられる。生後1年未満に宿泊・日帰りを合わせて12回まで利用可能です。	継続	1,624	1,594
4	妊娠・出産期～就学前	妊産婦ケア事業 (産婦健診)	子育て支援課	産後の体調や育児の状況を確認するため、産後8週間以内に委託医療機関で、2回受けられます。	産後8週以内の母の体調や育児の状況を確認し、安心して親子ともに健やかに過ごすことができ、医療機関が必要時治療や支援につながります。	継続	2,330	2,177
5	就学前	乳幼児健診	子育て支援課	乳幼児の病気の早期発見と予防、及び健康の保持増進のため医師、歯科医師、歯科衛生士、臨床心理士、保健師、栄養士、看護師等が連携して健診を行います。	3～4か月児健診、9～10か月児健診、1歳6か月児健診、2歳児歯科健診、3歳児健診を年66回実施する。身体計測、保健相談、内科・歯科診察、ブラッシング指導、心理相談、尿検査、栄養相談、目の屈折検査等を行います。	継続	8,227	7,447
6	就学前	離乳食教室	子育て支援課	保護者の困りや不安感の解消、生活リズム、食習慣及び間食等について、管理栄養士・栄養士が中心となり、こどもの成長や発達状況に応じた支援を行います。	初期コース、中・後期コースいずれも6回ずつ開催予定。こどもを対象に食に関する体験ができ、保護者の困りや不安感の解消になります。	継続	54	65
7	就学前	新生児聴覚検査 (費用の助成)	子育て支援課	生後1年未満の乳児に対し、医療機関委託で新生児聴覚検査を実施し、費用の一部助成します。	岡山県内の産科医療機関及び県外の契約医療機関で出生後に検査を実施します。県外で出生された子どもさんへも受診を促します。	継続	667	610
8	妊娠・出産期	妊婦・パートナー歯科健診 (自己負担の無料化)	子育て支援課	妊婦及びパートナーに対し、市内歯科医院委託で歯科健康診査を実施します。	市内歯科医院へ委託。歯科医院で歯科健診、歯科保健指導、リーフレットを用いて歯科疾患がもたらす子どもへの影響を説明します。	継続	574	502
<b>3. 経済的支援</b>								
1	就学前	私立園への給食食材費助成	子育て支援課	市内の私立園に対し、物価高騰対策のため給食食材費の一部を助成する。	私立園へ食材費の一部を助成することにより、園運営の負担を軽減し、引き続き入園児へ安心・安全な給食を提供する事ができる。	新規	-	17,770
2	就学前～小・中学校	園・小中学校等の給食費への助成事業 (物価高騰に伴う緊急支援)	教育総務課 学校給食推進室 子育て支援課	給食材料費の仕入れ価格の高騰の影響により学校給食費を値上げする状況にあり、保護者の急激な経済的負担を押しさえるため、学校給食費を据え置くとともに学校給食の質を維持するため、市費による食材費高騰分の補填をします。	食材費の実質高騰分1食当たり20円の補填から50円の補填への拡大による適正な栄養価の給食の維持を図ります。	拡充	23,261	43,784
3	就学前	保育料の減免・無償化 (第3子以上)	子育て支援課	ひとり親世帯などに該当する場合や第3子以降については保育料の減免や無償化を行う。	申請のあった該当世帯へ減免等	継続	32,470	25,415
4	妊娠・出産期～就学前	出産・子育て応援はぐくみ給付金事業 (妊娠時、出産時それぞれ5万円給付 +伴走型支援)	子育て支援課	妊娠時と出産時に応援金を給付し、経済的負担を軽減します。	伴走型相談支援との一体的な実施により、必要に応じた支援に繋がります。	継続	23,000	20,000
5	妊娠・出産期	低所得妊婦初回産科受診料助成事業	子育て支援課	低所得家庭の妊婦に対して、妊娠の診断を受けるために医療機関を受診する際の初回費用を助成し、経済的負担を軽減します。1回あたり1万円を上限	1回あたり1万円を上限とし、年度内2回まで	継続	100	50
6	妊娠・出産期	不妊・不育治療支援事業 (上限を設定した上で全ての不妊治療 を対象)	子育て支援課	不妊症・不育症のため、子どもを持つことができない夫婦に対して、治療費の助成を行い、経済的負担を軽減します。	上限額を設定した上で全ての不妊治療に拡大	継続	6,300	5,500

NO	ステージ	事業名	担当課名	事業概要	実施内容	R7事業実施	R6当初予算額	R7予算要求額(千円)
7	ライフステージにかかわらない支援	ひとり親家庭への就業支援にかかる給付金（高等職業訓練促進給付金事業に加え、自立支援教育訓練給付金事業を拡充）	子育て支援課	ひとり親家庭に対し、就職に有利かつ生活の安定に資する資格の取得を促進し、経済的自立を図ります。R7年度はひとり親家庭の父母が教育訓練講座を受講する場合にその経費の一部を支援し、主体的な取り組みができるよう自立訓練給付金事業を追加します。	教育訓練の受講に係る経費の一部負担を行い、主体的な能力開発の取り組みを支援し、自立促進を図ります。児童扶養手当現況届の際などに、資格取得の意向がある方に対し、当該事業について周知します。	拡充	1,730	1,970
8	妊娠・出産期	若年がん患者妊孕性温存治療支援事業	健康推進課	生殖機能に影響するおそれのある治療を受けるがん患者に対して、治療費（妊孕性温存治療）の助成を行い、経済的負担を軽減します。	申請のあった医療保険外の妊孕性温存治療を受けた方への治療費の助成を行います。	継続	650	255
9	高校	市内就職を志す看護学生への奨学金（返還免除あり）	健康推進課	看護師養成所に在学する者のうち（大学含む）、真庭市内の医療機関に就職を希望する者に対して奨学金のを貸付事業を実施します。	奨学金支給を希望する学生を募集	継続	6,000	10,140
10	就学前～高校	こども医療費無償化（対象を高校生代まで拡充）	市民課	こども医療費給付事業において、令和5年6月診療分から対象年齢を高校生世代（満18歳）までに拡充し、無償で医療（入院・通院とも）を受けられます。	医療費無償化の対象年齢を高校生世代まで拡充し、保険診療にかかる医療費無償化により、安心して医療機関等を受診できます。	継続	195,626	195,056
11	高校	高校生・大学生等への奨学金（奨学金貸付・Uターンする若者への返済免除含む）	教育総務課	高校及び大学等の進学支援として奨学金の貸付事業を実施。奨学金利用者で市内就職等を行った者に借入額の最大2分の1を限度に奨学金返還免除を行います。	より多くの奨学金利用者へこの制度の周知を図るため、返還金納付書を送付する際にPRをします。	継続	13,920	12,960
<b>4. 子育て環境整備</b>								
1	就学前	こども園等の再編整備促進	子育て支援課	老朽化しているこども園等を保育ニーズも考慮し、再編整備を行う。R7年度は、R9年度に開園を予定している新たな公立の認定こども園の建設工事や市内公立園の施設整備計画を策定します。	市内園の老朽化等の状況を把握し、今後の方向性を検討し、計画的な事業実施を目指します。	新規	100,518	728,086
2	高校	高校生ビジネス講座受講支援	産業政策課	高校生のスキルアップを支援するため、プログラミング、デザインなどの講座の費用の一部を補助する。	高校生のスキルアップを支援することで、未来の産業人材を育成する。	新規	-	1,000
3	高校	高校生チャレンジ支援	産業政策課	地域課題をビジネスで解決することにチャレンジする高校生を後押しする。	高校生のチャレンジを後押しすることで、未来の産業人材を育成する。	新規	-	500
4	ライフステージにかかわらない支援	女性キャリア開発調査事業	産業政策課	女性の多様なキャリアを開発し、活躍を推進するため、女性のニーズ調査を実施する。またニーズ調査結果をもとに企業側のニーズも調査し、女性のキャリア開発における支援体制についてのデータベースを構築する。	女性のキャリア開発に資するデータベースの構築	新規	-	14,916
5	妊娠・出産期～小・中学校	北町公園あそび場整備	スポーツ・文化振興課	やまびこグラウンドに敷いていた人工芝を活用して、北町公園の体育館跡地に、建物が建つまでの間、人工芝を敷き子どもの遊び場を作る。	北町公園に建物が建つ間、久世体育館跡地に人工芝を敷き、子どもの遊び場を整備する。	新規	-	16,600
6	小・中学校	蒜山平和学習	生涯学習課	市内小学校を対象に蒜山の戦争遺跡を見学し、平和について考える学習を支援する取組を実施	年間5校参加	新規	-	1,028
7	ライフステージにかかわらない支援	こどもはぐくみ応援事業（こどもまんなかまつり・座談会の開催、屋内巡回遊び場の実施、市民インフルエンサー、こどもはぐくみ応援プロジェクトのPR、こどもの居場所の周知）	子育て支援課	育児がしやすい社会の実現のための理解促進に取組むことで、「みんなではぐくむ子育てのまち」の実現のための機運醸成を図ります。令和7年度はこどもまんなかまつりや座談会に加え、屋内巡回遊び場を新たに行います。また、真庭市が実施する施策及びこども・子育て情報を集約し発信するため、市民インフルエンサーや動画作成に加え、令和7年度は子育て支援施策のチラシを作成して広報紙と合わせて全戸配布するほか、公園などのこどもの居場所の情報を動画やマップなどで発信します。	「みんなではぐくむ子育てのまち」を実現するため、地域全体で子育てを応援する機運を醸成します。また、「住み続けたい」と感じてもらえるよう、子育て世代をメインターゲットに、こども・子育て支援に関わる事業や欲しい情報を効果的に発信します。	拡充	7,108	8,574
8	小・中学校～高校	いのちふれあい事業（中学校・高校）	子育て支援課	中・高校生を対象にした、命の大切さを学ぶためのふれあい体験学習。各地域それぞれの方法で愛育委員と中・高校、健康推進課が連携して事業を行っています。	地域の愛育委員と一緒に中・高生が、講話を聞いて命の大切さを学んだり、妊婦体験や育児体験を行います。	継続	42	25
9	ライフステージにかかわらない支援	真庭ではたらく保育士新生活支援事業（保育士の就職支援）	子育て支援課	新たに真庭市内で保育職として働く方へ支援（補助金）を行います。	●真庭市内への就職促進 ●保育職の確保	継続	5,500	3,500
10	就学前	頑張る保育士応援事業（奨学金の一部返済補助等）	子育て支援課	奨学金を用いて保育士等の資格を取得し、真庭市内に就職した方へ、奨学金返済額の1/2（上限は年12万円）の補助を行います。	正規職員や認可外保育施設の勤務者も対象に含めます。	継続	2,584	2,214

NO	ステージ	事業名	担当課名	事業概要	実施内容	R7事業実施	R6当初予算額	R7予算要求額(千円)
11	就学前	民間認定こども園サロン事業 (一時預かりなどの充実)	子育て支援課	一時預かり及び地域子育て支援事業の運営費に対し補助金を給付します。	地域の子育て支援の量の充実や質の向上	継続	17,346	17,473
12	就学前	園児のおむつスッキリ事業 (園での使用済みおむつ処理)	子育て支援課	園で使った園児のおむつを園が引き取ることで、保護者の方の持ち帰りの負担が軽減されます。また、保育士がおむつの仕分けをする必要がなくなり、園児と向き合う時間を増やすことができます。	園の規模に合わせたオムツ回収ボックスを整備します。	継続	-	-
13	就学前	こども園等の施設改修	子育て支援課	既存のこども園等の改修を計画的に行い、適正な保育環境の整備を行います。	安全・安心、衛生面の充実を図ります。	継続	16,056	21,967
14	就学前	保育人材の確保促進事業(免許取得助成、学生の保育対策支援、リクルート活動)	子育て支援課	令和5年度に引き続き養成課程のある学校へのリクルート活動、保育現場従事者の免許状の取得に係る費用の助成を行うことに加え、令和6年度から学生に真庭市の保育を知ってもらう体験の機会への交通費などを助成し、保育士を確保と市内の保育環境を向上を目指します。	保育の質の向上を図るため、包括連携協定の締結している大学等の学生に、真庭市の保育を知ってもらう機会を創ります。 リクルート活動：5月までに県内の養成校に対しリクルート活動を行います。	継続	315	319
15	就学前	こども園等のICT化推進事業 (登降園記録等のICT化推進)	子育て支援課	公立保育園、こども園職員の業務負担の軽減を図り、保育業務に専念できる環境を構築し、保育の質の向上を図るとともに、保護者の利便性を向上させるための保育業務支援システムを導入します。	R6年度で公立園全園で導入が完了した。	継続	21,014	7,142
16	就学前	一時保育サービス事業	子育て支援課	保護者の疾病や出産、看護等の理由により一時的に保育をすることが困難な方に、保育園等で一時的な保育を提供します。	前年度から引き続き、市内各園での預かりを行います。	継続	-	-
17	就学前～小学校	病児保育事業(市内2か所)	子育て支援課	子どもが病気の時、保護者が仕事等の都合で家庭での保育が困難な際に一時的に預かり保育する事業。2ヶ所に委託し、運営。	2か所運営委託。令和4年度末に増設したため、周知啓発に努めます。	継続	23,775	18,703
18	就学前～高校	子育て短期支援事業 (特定の理由による宿泊を伴う預かり支援)	子育て支援課	保護者の疾病、出産、育児疲れ、冠婚葬祭などの理由で一時的に家庭で子どもを養育することが難しくなった場合に、7日間を限度として児童養護施設(津山市・2か所)で子どもの預かりを行います。	津山市内の2施設に委託。振興局保健師やはぐみセンターなど関係機関と連携し、支援が必要な家庭に情報を届けます。	継続	393	393
19	妊娠・出産期～就学前	つどいの広場の運営	子育て支援課	就学前の乳幼児と保護者が気軽に集い、交流しあえる場所の提供します。	北房、落合、久世(2か所)、勝山、湯原、蒜山で開催	継続	30,044	32,675
20	小・中学校	放課後児童クラブの整備	子育て支援課	保護者が就労等の理由で昼間家庭にいない児童を放課後に預かり、児童の健全な育成を図るための委託事業。16クラブ17か所を運営しています。	勝山小学校区放課後児童クラブ移転改修工事を行います。	継続	114,593	19,866
21	就学前	事業所内保育所推進事業	子育て支援課	第3子児童の保育料を無償化する事業所内保育所へ補助します。	申請のあった市内の事業所内保育所へ補助金を交付します。	継続	2,880	1,440
22	就学前～高校	J R 姫新線社会学習利用助成事業	くらし安全課	J R 姫新線を活用した社会学習に対し、乗車券購入費用の全額及び園・学校等から駅までの貸切バス等の運賃等の2分の1(上限5万円)を補助します。	公共交通機関である姫新線の利用体験を通じて、子どもたちの社会性を育みます。目標：年300人	追加	231	364
23	小・中学校	スポーツ少年団補助金事業	スポーツ・文化振興課	真庭市のスポーツ少年団の活動を支援し、もって青少年の健全育成及びスポーツの振興を図るため、市内のスポーツ少年団に対して補助金を交付する。	青少年の健全育成及びスポーツの振興を図る。	追加	10,530	10,530
24	小・中学校	芸術アウトリーチ事業	スポーツ・文化振興課	芸術アウトリーチ事業の一環として、音楽やダンス、狂言鑑賞の体験授業を真庭市内の小・中学生を対象に実施するもの。	小・中学生を対象に、質の高い舞台・映像芸術や音楽文化などに触れる機会を提供することで芸術への関心を高め、芸術に対する感性や能力を育成し、豊かな人間性を育む。	追加	7,334	6,785
25	小・中学校	地域スポーツ・文化推進事業	スポーツ・文化振興課	中学校の学校部活動が地域移行されるに伴い、地域において中学生がスポーツ・文化活動ができる場を確保できる体制づくりを行う。	学校部活動で実施している種目だけでなく、地域において生涯、継続的にいろんなスポーツや文化活動ができるような体制づくりを行う。	追加	1,407	20,303
26	就学前～小学校	小学校での馬とのふれあい体験	スポーツ・文化振興課	馬術をもっと身近に感じ、乗馬の楽しさを知ってもらうため、小学校で馬とのふれあい体験を実施するもの。	乗馬の楽しさや馬を知ってもらい、子ども達への情操教育の一端を担う。	追加	454	454
27	就学前～小学校	子どもと楽しむ音楽会	スポーツ・文化振興課	真庭市・岡山フィルハーモニック管弦楽団・真庭エスパス文化振興財団が連携し、気軽に初めてのオーケストラを親子で楽しんでいただくために実施するもの。	県内の楽団による演奏会として、クラシックコンサートに訪れる機会がない子育て世代や、その子どもたちに、気兼ねなくコンサートを楽しんでもらえるように実施する。	追加	500	500

NO	ステージ	事業名	担当課名	事業概要	実施内容	R7事業実施	R6当初予算額	R7予算要求額(千円)
28	就学前～小・中学校	小・中学生へのプレゼントコンサート	スポーツ・文化振興課	真庭市・岡山フィルハーモニック管弦楽団・真庭エスパス文化振興財団が連携し、市内の小・中学生にオーケストラを楽しんでいただくために実施するもの。	オーケストラを体験する機会を設けることで、子ども達への情操教育の一端を担う。	追加	440	440
29	就学前～高校	映画づくりワークショップ	スポーツ・文化振興課	子どもから大人まで、映画に親しみ映画制作について学ぶワークショップを実施。	段階別に分けた講座を開催し、さまざまな層に映像や文化に対する訴求を図る。	追加	1,485	1,485
30	小・中学校	こども映画祭上映会（文化活動補助事業）	スポーツ・文化振興課	子どもから大人までを対象とした映画祭を開催する。子どもも大人も楽しめる映画やエコロジーをテーマにした国内外の優秀な作品をセレクトし、上映を行うほか、作品に関連したゲストを迎え、ワークショップやシネトークを開催する。	会場はビクトリアシアター（久世）と真庭市立中央図書館をメイン会場とし、より近い環境で映画に関わることの出来る機会を提供する。周辺地域と連携しながら、「まち」全体を楽しむことができる映画祭を目指す。	追加	1,890	1,890
31	就学前	企業内保育所推進事業（事業所内保育所等推進事業）	産業政策課	企業が設置する保育所等に地域枠を設けて設置企業従業員以外の乳幼児を受入れている企業所内保育所に対する補助を行います。（1人月額5千円）	設置企業従業員以外の乳幼児を受入れている企業所内保育所に対し、1人月額5千円の補助を行います。	継続	540	540
32	ライフステージにかかわらない支援	子育て世帯就業環境改善事業	産業政策課	子育て世帯の所得の増加と企業の人材確保を目的として、子育て世帯就業環境改善に関心のある企業を対象とした研修会の開催や他都市事例や市内企業のニーズに基づく告知物による啓発を行います。	子育て世帯の就業を促進し所得の向上 子育て世帯の就業が促進されることで企業の人材確保	継続	4,000	4,000
33	ライフステージにかかわらない支援	就業環境向上ステップアップサポート事業	産業政策課	子育てをしながらでも安心して働けるよう、事業所に対し啓発活動や環境整備を支援します。	市内企業への啓発及び研修会の開催を支援します。	継続	300	300
34	妊娠・出産期～高校	空き家活用推進事業	まちづくり推進課	10年以上市外に居住し定住意思をもって転入する人で転入後3年を経過しない人に補助金を交付します。 子育て支援に資することを目的に、同世帯の子（23歳未満の子をいう）を養育している場合、1人あたり5万円を加算、申請者の配偶者については、1人あたり3万円を加算します。	子育て世帯の負担を軽減し、こども・子育てを応援する社会的機運を醸成することができます。	継続	40,000	44,000
35	就学前～高校	安心して遊べる場の整備促進	まちづくり推進課	広く要望を募り、公民協働によるポケットパークを整備します。	公民協働によるポケットパークを整備し、子育て世代が安心して遊べる場を増やします。	継続	25,024	1,000
36	就学前～高校	市営住宅入居時の多子世帯優遇制度	まちづくり推進課	子育て中の多子世帯（18歳未満の子を3人以上扶養する者）等市営住宅の入居に関して配慮が必要な方を優先的に市営住宅に入居できます。	多子世帯等が市営住宅入居申込みをした場合、その公開抽選に当たり、抽選回数を優遇します。	継続	-	-
37	就学前	真庭市里山定住促進事業（出張里山の日）	地域みらい創生課	森の日の実証を経て、幼少期から里山に触れ、地域への愛着と誇りを醸成する事を目的に「将来の定住促進、地域社会を担う人材の育成」の定住促進事業を実施します。	市内こども園を対象に、地域への愛着と誇りを醸成するための里山自然体験を実施します。	継続	2,013	2,013
38	小・中学校	真庭市里山留学事業（移住促進）	地域みらい創生課	事業の一部に里山に日事業を組み込み、将来の移住者のため関係人口の増加を目的に「将来の移住の促進、地域社会を担う人材の確保」の移住促進事業を実施します。	短期と中期の里山留学を継続しつつ、年間を通じての長期里山留学を実施します。	継続	8,998	9,950
39	結婚	新婚さんバックアップ事業	地域みらい創生課	結婚を機に引っ越した場合の引っ越し代、家賃、新築・改修費用を補助します。	新婚生活を始めるための費用を応援することで、少子化対策につなげます。	継続	20,600	20,600

NO	ステージ	事業名	担当課名	事業概要	実施内容	R7事業実施	R6当初予算額	R7予算要求額(千円)
40	小・中学校～高校	教育魅力化推進事業（高校魅力化推進も包括的に実施）	教育総務課	<p>郷育魅力化コーディネータを配置し、地域の活動を学校での生きた学びに活かしていくとともに、これまでの総合学習、探究学習での地域講師との調整や授業サポートに取り組みながら、小中高・園・家庭・地域までを包括した伴走支援体制を構築します。</p> <p>拡充メニュー：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市部大規模商業施設での高校PRイベントの実施</li> <li>・小高連携（高校が小学校に対する体づくり指導支援）</li> <li>・高大連携（岡大教育学部との交流）</li> <li>・資格取得支援</li> <li>・海外短期留学・国内視察研修支援</li> <li>・全国募集用PRサイト運営</li> <li>・部活動連携支援</li> <li>・スタートアップ企業ビジネスアイデア実践</li> </ul>	郷育魅力化CDを活用した地域へのアウトリーチにより、学校、家庭、地域をつなぐ伴走支援を実施します。魅力化に取り組む市内高校を支援し、高校入学者数の増加を目指します。	拡充	36,026	53,518
41	小・中学校	小中学校等のICT化推進事業（学校と保護者との連絡ツールのICTを推進）	教育総務課	セキュリティ対策が施されたアプリを用いて①保護者から学校への欠席等連絡②学校から保護者家庭への情報発信③学校活動及び学校運営に関する情報の閲覧に関する利便性向上を進めます。	学校と保護者の連絡ツールとして円滑に運用できるよう、学校での研修を行うとともに、保護者への周知を図ります。	継続	2,799	2,799
42	小・中学校	学校給食地産地消推進事業	教育総務課学校給食推進室	地元食材を学校給食で提供することを通じ、郷育を推進するとともに地元食材の生産者の振興を図り、安全安心な学校給食の安定供給を目指します。	真庭食材の日を年3回開催。 真庭特産品プラスワンの日を年6回開催。	継続	6,000	6,000
43	小・中学校	生理用ナプキンスクール事業（市内小中学校トイレに生理用品設置）	学校教育課	児童生徒が必要な時に生理用品を利用できるよう、市内小中学校のトイレに生理用品を設置します。	様々な理由から生理用品の確保が難しい場合や、急に必要になったときに持ち合わせていない場合でも、不安を感じることなく、安心して学校生活を送ることができます。	継続	104	197
44	小・中学校～高校	よみたい、しりたい、こども応援事業	生涯学習課図書館振興室	①児童・生徒が学校で公共図書館の本を予約、受け取りできるようにします。 ②自動車文庫の高校巡回をします。	公共図書館が遠く本を借りるのが困難な児童生徒にも公平な読書環境を提供することができます。	継続	769	397
45	小・中学校	地域学校協働本部事業	生涯学習課	「学校を核とした地域づくり」を目的に地域と学校が連携協働する地域学校協働活動を実施します。	市内全域の地域学校協働活動推進員を対象とした研修会を年2回以上開催します。	継続	11,346	11,386
46	小・中学校	放課後こども教室事業	生涯学習課	主に長期休業中におけるこどもたちの体験・交流活動を地域の実情に応じて実施します。	北房・落合・美甘・湯原・蒜山で実施します。 (久世・勝山は公民館講座で実施)	継続	696	702
47	就学前～高校	こどもの居場所づくり支援事業（あそびの機会づくり）	生涯学習課	子どもが自由で自発的に遊ぶことができる遊びの機会をつくるとともに、見守ることができる大人を増やし、世代を超えた大人のネットワークを育みます。	あそびに関する研修会等を開催し、年100人程度参加者数を目指します。	継続	0	5,603
						80	882,247	1,478,842

## 第4回こどもはぐみ推進本部会議録（要旨）

開催日時	令和6年12月10日（火）16:00～17:00
場所	真庭市役所 本庁舎 応接室
出席者	本部長（太田市長）、副本部長（伊藤副市長）、（三ツ教育長）、危機管理監（今石）、総合政策部長（木村）、政策推進監（牧）、総務部長（金谷）、生活環境部長（池田）、健康福祉部長（樋口）、産業観光部長（木林）、林業政策統括監（石原）、建設部長（美甘）、まちづくり推進監（川端）、会計管理者（今石）、教育次長（武村）、消防長（大美）、湯原温泉病院事務部長（西本）、議会事務局長（児玉）、蒜山振興局長（南）、北房振興局長（行安）、落合振興局長（大塚）、勝山振興局長（三浦）、美甘振興局長（安藤）、湯原振興局長（河島）
事務局等	子育て支援課（広岡、吉原、神庭、二宗、水島）
傍聴者	2名
議事内容	<p>《報告事項》</p> <p>①こどもはぐみ応援プロジェクト2024 73事業の事業進捗状況について <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料1</span></p> <p>②こどもの居場所「公園等の検討事項」について <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料2</span></p> <p>《協議事項》</p> <p>①真庭市子ども計画(素案)について <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料3</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料4</span></p>
冒頭の事項	<p><b>本部長（太田市長）</b>：人口減少の中でどう未来を担うか、こどもにどう成長してもらうかが大きな課題。こどもをひとりの人格者としてきちんと位置付けて、単に親が育てるというわけではなく、こども自身を人格を持った一人の人間として位置づけて自らが育っていく環境、妊娠から安心してこどもを生むことができるための条件整備をしていく認識が必要。出生数が落ち込んでいる。こどもを生み育てたいのに生み育てる環境にないというような社会現象をどうなくしていくかを考えないといけない。青少年の自殺は世界で見れば相対的に低いが高くて異質な現象。日本は異常な数値。こどもにとって住みにくい社会現象を作り出しているのではないか。合計特殊出生率だけみれば韓国は1を割っている。韓国は進学を言われ、競争社会、大学も5つの中からの卒業でないと一流企業に就職できないというような生き苦しさがある。日本はそこまでではないが、こども、若者の生き苦しさを変えていかないとけない。</p>
①こどもはぐみ応援プロジェクト2024 73事業の事業進捗状況について <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料1</span>	<p><b>事務局</b>：特に新規事業等で進捗状況を共有しておくものがあればお願いしたい。</p> <p><b>副本部長（伊藤副市長）</b>：母子手帳アプリの利用者の皆さん方の反応はどうか。</p> <p><b>健康福祉部長</b>：10月にプレスリリースをした。本リリースは1月から。機能を限定し先行して実施している分の取りまとめについては、今後皆さんに共有したいと思っている。これまでの状況では、特に何か使いにくいとか云々というところまでは聞いていないが、ダウンロード状況等の意見についても取りまとめて報告をさせてもらう。</p> <p><b>本部長（太田市長）</b>：真庭の今年の出生数はだいたいどのぐらいか。</p> <p><b>健康福祉部長</b>：令和6年の11月までの出生が166件。12月出産予定の妊娠届の数が18件ある。その通りになれば、18を足して184件ぐらいになるかと思う。去年が194件。</p>

**本部長（太田市長）**：自宅出産とかはどのくらいいるか。

**こども家庭センター長**：医療機関がほとんど。在宅は今年度も把握していない。基本医療機関で落合病院が約6割。それ以外の市外、津山近辺が25%ぐらい。あとは県南や蒜山だと倉吉など。

**本部長（太田市長）**：落合病院は真庭市民が多いと思う。蒜山は倉吉。津山や岡山、広島などはだいたい妊婦さんの実家近くが多いということか。

**こども家庭センター長**：選ばれる医療機関についてはそこまで把握できていない。

**本部長（真庭市長）**：問題は例えば1人目は広島県出身なら実家の広島で生むことも支障がないと思うが、2人目以降の時に小さいお子さんがいながら広島に連れて帰って生むのは大変だと思う。つまり地域に安心して生める医療機関がないと2人目以降を生むことになりにくいのではないかということの関連で質問した。

**こども家庭センター長**：2人目以降の時にも実家を選ばれる方は、実家で母親などからの支援を求められて選ばれると思う。ご主人や家族のいるところで出産できるのも必要とは思いますが、それぞれの家庭の選択、考え方ということになる。

**本部長（太田市長）**：もう一つ聞か、どこまでが異常分娩になるのか。定義が難しいと思うが、危険があるとかいうことも含めて、その辺の割合が増えているのか、減っているのか、その辺の傾向はどうか。

**こども家庭センター長**：未熟児の関係だと医療費の支援事業をやっていて、その申請の傾向から見れば最近は少なめではある。ただ、年によっても違うし、あと多胎出産の場合は未熟児の医療を受けられるケースも多いので、傾向として増えているか減っているかいうところまでは断定できない。

**本部長（太田市長）**：今年の多胎出産の傾向はどうか。

**こども家庭センター長**：1件か2件ぐらいだと思う。

**本部長（太田市長）**：不妊治療で生まれる場合、多胎が多いとか傾向があるのか。

**こども家庭センター長**：不妊治療も助成事業をやっており、申請はそこそこ出てる中で多胎かといえば最近はそのような認知はない。

**本部長（太田市長）**：結婚、出産世代の方々の日常の意見を聞くような仕組みはあるか。

**健康福祉部長**：市長も参加していただいた子育て世代の方々との座談会を行った。高校生世代については、今後意見を聞くような場を設けていかないといけないし、こども家庭庁の中でも機会を設けている部分もある。12/27実施予定のユース座談会にも、こども家庭庁からも話を聞きたいという話がある。その世代の意見を聞くことは大切だと思うので作っていく必要はあると思う。

**本部長（太田市長）**：地方創生の関係で、こども子育て関係も意見を聞く場を常設するようなことをしたらどうか。

**健康福祉部長**：常設がいいかわからないが、フランクに意見交換できる場所は考えていく必要があると思う。マトリクス会議で可能性を議論しながら、どういう形がいいかを考えていければと思う。

**副本部長（伊藤副市長）**：ここは市の政策の方向性を議論する場なので、市長が言われる意見聴取は、いろいろな方法でこれまでもやってきてるし、市長がご提案されたよう

なことも、考えていければいいと思う。当事者の方のご意見はぜひお聞きする必要があると思うのでやっていきましょう。

**本部長（太田市長）**：産業界との関係はどうか。女性が働きやすい、子どもを生み育てるために産業関係での情報はどうか。

**産業政策部長**：商工会で来年度事業の話をしている中では、女性の働きやすさ、子育て世代の働きやすさのセミナーの話をしている。経営者の意識が変わらないと何も変わらないので、そこと連動して事業できればと思っている。

**本部長（太田市長）**：子育て支援課での企業関係とはどのような状況か。

**事務局**：今年度も今年3月にしたような企業との座談会を3月に実施を予定としている。産業政策課で今年度取り組んでいる事業の結果等を参考にしながら、どういった企業に声かけをしていくか検討している。

**本部長（太田市長）**：全国的に、労働行政で、子育て環境の条件がいい企業を表彰するとか、そういう企業が伸びてるとかの資料もあると思う。真庭の場合、企業も小さくまだ認識が低いのではないか。条件の良い企業が業績が伸びてる、あるいはそういう支援があるという認識をしてもらうことが必要ではないか。

**産業政策部長**：今年度実施している事業で全国での取り組みを調べて真庭ならどうすれば取りやすいかを調べて、来年、企業に展開できればと思っている。それを3月の座談会の時に発表する流れになると思う。

**本部長（太田市長）**：真庭市も企業だが、そういう水準はどうか。

**総務部長**：こういう地域にあっては、市役所の職員は子育ての環境は整っていると思う。ただし、仕事が忙しく夜遅くなることもあるが、育児休業も取れる制度になっている。あとは仕事の忙しさをどうするかというところだと思う。

**本部長（太田市長）**：完全週休2日の企業はどのぐらいか。真庭は少ないのではないかな。

**副本部長（伊藤副市長）**：今は人手不足。経営者と話をしても、そのあたりは改善しないと人が来ないという問題意識は持たれている。少しずつ改善されつつあるが、週休2日制を導入している企業の割合は都市部に比べれば低いと思う。特に製造業が真庭の場合が多いので週休2日に完全にすればラインを止めないといけなくなる。

**本部長（太田市長）**：建設業はどうか。

**副本部長（伊藤副市長）**：建設業は入札の条件になっている。

**建設部長**：働き方改革で週休2日にすれば経費があたり2倍ぐらいになる。

**本部長（太田市長）**：建設単価を計算する際は、週休2日を前提にしているということか。

**建設部長**：そのとおり。

**副部長（伊藤副市長）**：県が子育てに配慮した企業の登録制度や表彰制度をしているので県と連携して企業への働きかけをしっかりとやっていきましょう。

**本部長（太田市長）**：社員食堂がしっかりしてるところの企業は伸びている。これは本当に面白い。市役所ではお昼の時間も来客対応しており、本当にありがたい。原則的に窓口対応はしないといけませんが、みんなが集まって食事ができる場のような対話の成り立つ職場が本当は必要。その辺考えてもらえないか。

	<p><b>総務部長</b>：総務で呼びかけて、お昼時間に体操をしている。ヨガマット持って行って、1階や3階で集まって20分体操など。集まるのは女性が多いが、話をしながらやっている。喫煙所などで<u>情報交換するのは必要</u>だと思う。公民館をそういう場にできるよう、複合化施設の検討の中で、案の一つとしてカフェを検討中。</p> <p><b>本部長（太田市長）</b>：山陽新聞が一番上が社員食堂。岡山県庁は地下が社員食堂、今度岡山市役所が開庁してどうするか。</p> <p><b>副本部長（伊藤副市長）</b>：岡山市役所は結局食堂を諦めた。</p> <p><b>本部長（太田市長）</b>：<u>里山留学は</u>どうなっているか</p> <p><b>副本部長（三ツ教育長）</b>：今、小学校6年生が一人来ている。来られた子も元気で過ごしているし、地域のこどもたちが混ざって育つ、他の価値が入るのでとても喜んで<u>いる</u>。次年度は今の予想ではまだ確定していないが<u>2人来てくださるという方向</u>だがまだ正確な情報ではない。</p> <p><b>本部長（太田市長）</b>：<u>里山留学は</u>どうしたら増えるか。長野県など先進地は結構ある。</p> <p><b>総合政策部長</b>：<u>近くだと成功してるのは岩国</u>など。長野県は、今うちがやってるようなホームステイ形ではなく、<u>寄宿舎がありそこに入る</u>というもの。岩国も同じような感じ。どういう形がいいのか、探りながらやってる。同じことをやっても多分難しいと思う。</p> <p><b>副本部長（伊藤副市長）</b>：<u>市営住宅のリノベーション</u>の状況はどうか。</p> <p><b>まちづくり推進監</b>：<u>年内でほぼ完成する予定</u>。貸し出す条件を内部で協議をしている。和室を洋室に変えたり、アイランドキッチンに変えるなど若い方に喜ばれるようなリノベーションになると思う。</p> <p><b>本部長（太田市長）</b>：いろいろなところの市営住宅が空いてると思うが、そこを戸建て住宅に改造するなどとは考えられないか</p> <p><b>副本部長（伊藤副市長）</b>：まちづくりの方で民間とコラボした民間住宅はある。</p> <p><b>建設部長</b>：市営住宅はたしか空きはない。老朽化で空いたところは取り壊している。</p> <p><b>まちづくり推進監</b>：デザインには流行がある。建物構造的には耐震改修がいらぬ建物のはわかったので、どうしていくか今後検討する。</p> <p><b>本部長（太田市長）</b>：木材をうまく使うことはできないか。</p> <p><b>まちづくり推進監</b>：現在、サウンディングをしている。業者の方に建物をらせていく方法も含め、いろいろと検討させていただく。</p>
<p>②こどもの居場所「公園等の検討事項」について</p> <p>資料2</p>	<p><b>事務局</b>：第3回こどもはぐみ推進本部会議で、こどもの居場所について話し合いをした時に、課題が見え、既存の公園の今後の方向性や情報発信、全天候型の遊び場の整備について、<u>どういう部署で調整をしていくかが明確でない</u>ということが課題だったので、資料2のとおり調整したので共有する。<u>まちづくり推進課で、公園と遊具の全体把握をするための取りまとめ</u>していただき、それがまとまってから、<u>子育て支援課で情報発信をする</u>。来年度に向けて予算要求をしている。</p> <p><b>まちづくり推進監</b>：市が<u>直接財産管理する場所が今回106箇所</u>あった。駐車場の台数、遊具の有無、遊具は何があるかなど細かいところまで調べている。トイレについては男女別があるか、こどものトイレがあるかなどすべて網羅できるようにかなりのデータ量を各管理部署に依頼中。年内を目処にお答えをいただきなるべく早い段階でこの会議に資料と</p>

して提供させていただく。

**本部長（太田市長）**：トイレは犯罪の問題なども関係するがその辺はどうか。

**まちづくり推進監**：エスパスの外にトイレがあり、20年ぐらい前だが、建設を担当した際にいろいろ聞いた話だが、多目的トイレは不純性行為の場になるというのは聞いている。夜トイレには鍵をかけるという話を聞いているので、そのあたり、どこまでプライバシーに配慮しながら、オープンにできるかが非常に難しい問題だと思う。

**本部長（太田市長）**：善意で作る、それで子どもが被害を被ったら本当に大変な問題。だから難しい。しかし、そんなことを言っていたら何もできない。

**副本部長（伊藤副市長）**：情報発信を、連携してやっていきましょう。まだ市民の皆さん方がご存知ないところが大きな課題。また、市長もこの前の議会で言われたとおり、全天候型の部分は新しいものを考えていいが、既存の振興局や図書館をうまく使えるようなソフト事業、例えばちょっとした遊具を置くとか、そういうことをぜひ振興局を中心に考えてもらいたい。

**本部長（太田市長）**：要望があるから議会でも、それを中心に議論した。不便なところだから使えない、施設が古いとかあるかもしれないが、見る限りいっぱいある。休みの日に使ってもらいたい。その辺の広報のあり方はどうか。

**事務局**：公園も含めた居場所全体の周知をこちらで考えていこうと思っている。

**本部長（太田市長）**：中央図書館に時々行っても、幼児の木のおもちゃ置いてるところも残念ながら少ない。風のパレットにしても寂しい。蒜山全体で考えるよう局長へお願いしたい。塩釜を越えたら途端に車がなくなる。いい場所あるのにもったいない。それからアーケード。米沢町とか。全天候型で使えないかと思う。墨田商店の前とか。

**総合政策部長**：久世のアーケードはまだ明かりが入るが米沢町や中町は暗い。

**本部長（太田市長）**：町の実情が取れば日曜日の一部時間は車の通行ができないようにして、その間は子どもの声がするようなイベントを開催するとか。そういう街づくりの話、今までにないことを考えたい。

**副本部長（教育長）**：ハードとか、空間という意味では、大事だと思うが、居場所は必ずしも公園や建物があるとか空間があるということではないと思う。市長が仰ったように、場合によってはその場所が生まれたり生まれてない時があってもいい。子どもにとっての居場所は、公園もちろん大事だと思うが、自分がやりたいことがやれたり、工夫してチャレンジできたり、見守られたりというような場所が大事だと思う。例えば山や川や道端で居場所作る場合もある。そういうことは、運動として大事だと思う。それが公園などということで検討されるのであれば、それはそれでいいと思う。

**副本部長（伊藤副市長）**：教育長が言われるとおり、両方バランスよく整備していくこと、選択肢を多くすることが大事だと思う。

**政策推進監**：最近視察に行った全天候型の施設を紹介だけさせていただく。鹿児島県の始良市の「ちるどん」という施設。施設内に一時預かりから相談、室内の広いところに遊具が無料。公共的な色合いが強く、多分財政的にも良いので無料で使える。20人近く職員がいる。まねはできないが、機能としては非常に参考になる。もう一つは、山形県の鶴岡サイエンスパークにある「ソライ」。ここは遊具のあるドームの施設で民間が出資をして作っている。一人1500円。小さい子は無料の分もある。一時預かりの面で行政

が協力支援をしている。文具とかそういった支援を企業がしている。我々久世校地とか複合化を目指すにあたっては、こういう機能もあった方がいいのではとアイデアとして持っていて、いろいろな可能性を探りながら検討していきたい。

**本部長（太田市長）**：久世校地に夜遅くまでカフェとして機能する、商売に競合しないような場があれば。真庭の場合、あまりにも夜が早い。若い人たちが 22 時ぐらいまで居られるような、コーヒー飲みながらとか音楽を奏でるとか、軽く運動できるとかそういう場があってもいいのではと思う。

**副本部長（伊藤副市長）**：現在サウンディング調査を進めている。大人の居場所を。

**政策推進監**：カフェは聞か話では滞在時間が長く、例えば 1000 人で 10 人に 1 人が寄ったとして 100 人。100 人では営業が成り立たない。夜の営業で営業時間が伸びれば、スタッフが回らないということもある。カフェを軸に運営できる、人が滞在できる場所にしていけるような形で進めている。

**本部長（太田市長）**：いろいろな預かりでも無料という話があったが、無料である必要はないと思う。無料でない人が来なければ作っても意味がないが、子育て世代の負担のないようにという議論はすればよいが、無料である必要はない。都市部だと英語の学童は完全に有料。市の学童に行かずにそっちに行く。全部無料である必要はないと思う、その辺の議論はしたらいいと思う。質がよいものを作った方がいい。

**政策推進監**：基本的に久世校地の組織自体は家賃で運営していく予定。行きたければ有料というのがいいと思っている。

**本部長（太田市長）**：都市のビルのプランニングでも全部有料。それから勝山で作ったバスケットゴールも、条件が合えば移動式で倒れないようにできればほかの所にも作ってもいいのではないか。例えば湯原など需要があれば。要望だけではなく、需要も調査しながらつくっていければ。

**勝山振興局長**：バスケットの需要ニーズはあると思う。今のゴールが大人用なのでこどもが利用するには厳しいところがある。可能なら増設したい。

**本部長（太田市長）**：こども用も高いものではない。管理費用もない。

**勝山振興局長**：基準がある。今設置しているものより約 50cm 低くなる。

**本部長（太田市長）**：需要があるなら、それを置いても構わない。久世も需要があれば置いても構わない。例えば岡山市に情報を流して、こちらに来るとなればお金も落ちる。真庭市の人口だけで考えるのではなく、外から人が来て賑やかな方がいい。基本は真庭のこどもの居場所だけれど、真庭以外の人も来ることで、にぎやかな場所を作っていくことも考えてほしい。

**副本部長（伊藤副市長）**：魅力があれば、市外の方のほうがアンテナが高いので来ると思う。紅葉公園などは倉敷ナンバーの車が多い。

**本部長（太田市長）**：それでは、こどもの居場所については子育て支援課中心にマップを作り周知していき、今のようないろんなアイデアを出しながら真庭の人が集まり、真庭のこどもたちも楽しいということを幅広く考えていきましょう。

**事務局**：マトリックス会議等でも、検討していく。

《協議事項》

① 真庭市こども計画

**事務局**：～真庭市こども計画（素案）について説明～

**本部長（太田市長）**：「子育ての支援や環境の満足度」が低いことに驚いた。何がそ

(素案) について

資料3

資料4

んなに低いのか。

**副本部長（伊藤副市長）**：これはアンケートとしてどうなのかということもある。普通という選択肢があれば、それを選ぶ傾向は出るかもしれない。

**本部長（太田市長）**：普通というか、満足してないのかどうか。

**副本部長（伊藤副市長）**：受け止め方がものすごく幅が広がってしまう。一定程度いいと考える不満はない人は、普通を選択する可能性はある。

**本部長（太田市長）**：そういう例えならかなりいい結果だが、評価されてないというふうには私にとらえた。

**政策推進監**：真庭市にはスポーツなどの習いごと選択肢が少ないので、岡山市などと比べて満足してるかどうかなので、満足はしてないが、諦めて住んでいる。ないものとして住んでる。普通という感覚はすごくわかる。

**副本部長（伊藤副市長）**：真摯に受け止めないといけないが、過去のアンケートと対比しての傾向がどうなるか。そういう分析をしておかないといけない。この普通というのがどういう思いを持って選択されてるか。それによってかなり傾向が出てくる。

**本部長（太田市長）**：一般的に言うと、岡山でいえば集積のメリットとデメリットがある。メリットとしては、こども関係の施設、家とか、職場も距離が近い。真庭の場合どうしても離れてしまう。ただ、交通渋滞があまりない。放課後児童クラブの総合的満足度を見ると普通を良いという肯定的に見ると満足度が高い。

**副本部長（伊藤副市長）**：「現在の生活の満足度」は非常に高い。先ほどの子育て環境と比較すれば、生活そのものについての満足度は6割近くが満足している。

**本部長（太田市長）**：普通をどう考えるか。

**副本部長（伊藤副市長）**：普通までのゾーンの方が生活の満足度と、子育て関係の満足度と、ほぼ同じぐらいの比率と思う。満足度の中身、生活の満足度よりも、子育て環境の満足度が低いのかもしない。放課後児童クラブの満足度が高い。

**本部長（太田市長）**：児童クラブについて、施設は作るが運用面で大変手間がかかるといって聞かすが、児童クラブの指導員の充実はどのような状況か。

**子育て支援課長**：支援員不足はかなり深刻である。誰でもいいわけではなく、よく知った方をお願いしたいとか、各クラブもなかなか見つからないという話を聞く。

**本部長（太田市長）**：指導員になってもよいという方の名簿などはないか？

**子育て支援課長**：今はそういう名簿はない。

**本部長（太田市長）**：一定の潜在名簿を作成したほうがいいと思うがどうか。

**健康福祉部長**：以前、人材関係の方から先行事例の話聞いたが、登録制度を作ってもなかなか機能しないということ。やり方の問題があるとは思うが、ただ、今これだけ苦労している厳しい状況の中、情報を集約することはあってもよいように思う。

**副本部長（伊藤副市長）**：政策の方向性としては岡山市も、こども園関係の環境整備の次の課題として放課後児童クラブのニーズが高くなってきていて、多分真庭市でも放課後児童クラブに対するニーズへの対応は大きな課題になってくると思う。支援員の確保も含め、重点的にやっっていけないといけないと思う。

**政策推進監**：事務局に聞かすが、こども・若者・子育て家庭を取りまく課題は、課題の重要度の順番で示しているのか。これだけデータを揃えているので、このデータを問題と捉え

たうでこういう結論になったというものが欲しいがどうか。

**事務局**：この課題は重要度の順番ではなく、施策の柱に合わせた形で整理をしている。

**副本部長（教育長）**：中身がどうこうということではなく、願いということで聞いてほしい。例えば基本理念に子ども大綱が目指す「子どもまんなか社会」ということがあり、身体的、精神的、社会的に幸福な生活を送ることができる社会ということが謳われている。全くその通りだと思うが、この精神的幸福度というのが日本では大きな課題になっている。ユニセフ調査で38か国中37位。この精神的幸福度を真庭にあるものを活かして、どう上げていくのが大事だと思う。そう考えたとき、保護することや与えるということは大事だが、子どもたちが能動的に活動する遊びなどが大事だと思う。真庭市が他の市と同じではなく、中山間地域で山や川があり、かつては森の日という取り組みなどもあって、秀逸だと思っていた。津黒ふれあいの里で、いろいろな遊びの機会が持たれるという、真庭にある自然を生かして、子どもたちが能動的に関わる場を作っていくようなことが、精神的幸福度を上げるには大事だと思う。どこかに記載するかではないが、真庭らしさも出てくるといいという思いでお伝えする。

**本部長（太田市長）**：真庭らしさは出してほしい。その取り組みが大変かもしれないが、他の農村部でもできるが、都市部ではできない。総合計画はまさにそれで、真庭ライフスタイルの実現、東京ではできない真庭の豊かな生活はこういうことなんだということ。そういう意味で子育ても都市部ではできない、お金ではできないようなものが魅力だと思う。それを出してほしい。例えば、川遊びも保護者との体制を組めばできると思う。大都市にはない小川のような水量の少ないところであればそれほど危なくはないし、水はきれい。津黒などももっと利用してもらいたい。津黒のふれあい館やはんざきセンターなどもつたいないと思う。

**副本部長（伊藤副市長）**：「自然生かす」という記載がある。今のような考え方を踏襲するような形にしたらどうか。「地域資源を活用した学び」のあたりを今の意見を反映して真庭らしさを出したらどうか。

**事務局**：郷育、真庭の自然や風土の中で、体験や経験を通じてというような、書きぶりも入れている。この計画とは別冊で来年度取り組む事業も示していく予定。そこで特に強調できるものは入れていきたい。

**本部長（太田市長）**：「在留外国人家庭の支援」について、非常に数も少ないが弱い部分。旅行客の英語対応の問題など国際化対応が必要。

**副本部長（伊藤副市長）**：国際化対応は組織の中で、健康福祉部だけではなく、市役所全体として国際化対応をどうするかをこれから考えていく。

**本部長（太田市長）**：イタリアから高校生が一月間真庭へ来て勝山高校などと交流したがどうだったのだろうか。私は相当刺激を受けていると思う。留学もいいがアウトバウンド、インバウンド両方ともいいが、来た人との機会を作っていくとかは組織の問題。職員についても、他の仕事もそうだが組織としても個人としても水準を上げていくことが大事。余裕がないということもある人が研修や勉強できるような会など、職員からそのような意見はないか。子育てに限らず今勉強したいなど。

**総務部長**：職員のスキルアップのための資格取得制度もあり、資格を取りたい人は利用

	<p>しているが、利用者が偏っている部分がある。<u>もっと広く活用してほしいので周知をしていかないといけない。</u></p> <p><b>本部長（太田市長）</b>：<u>今出たような意見を反映させながら、子ども・子育て会議でも意見をもらいながらよいものを作っていきますよ。</u></p> <p><b>こどもはぐみ担当課長</b>：<u>今後、1月中旬から2月にかけてパブリックコメントをする。それまでにご意見等あれば、子育て支援課の方にお寄せいただきたい。</u></p> <p><b>本部長（太田市長）</b>：正月休みに、子どもや孫が帰ってくることもあると思うので、どうしたら真庭に帰る条件を作れるのかというようなことも含めて話を盛り上げてもらえたらありがたい。</p>
閉会	<p><b>副本部長（伊藤副市長）</b>：<u>このこども計画がこれから5年間、真庭市の子育て支援の基本的な計画になる。それぞれの部署で関係する部分について、もう一度内容を検討していただきたい。また、真庭市は先行する形で予算事業としてはぐみプロジェクトを進めている。それとの整合性も考えていかないといけない。このこども計画の内容をベースにしながら、来年度のはぐみプロジェクトの具体的な内容についても、これから予算編成作業を入れていくので、保護者やこどもの姿勢に立ってより効果的な事業を考えていければと思う。</u></p> <p><b>本部長（太田市長）</b>：フジアーナやバスケットも含め、選手などに来てもらえるようなことも考えてほしい。</p>
<u>確認事項</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもはぐみ応援プロジェクト 2024 の事業進捗状況について共有し、来年度に向けた方向性を確認した。</li> <li>・こどもの居場所である公園等の把握状況、今後の周知について共有した。また、こどもの居場所の整備について意見交換を行った。</li> <li>・こども計画について、素案の内容について意見をいただき、パブリックコメントに向けた修正の方向性を確認した。</li> </ul>